

〔岡崎 晋議員 登壇〕

○3番 岡崎 晋君 岡崎です。よろしくお願ひします。一問一答でお願ひいたします。最初に、予防接種不通知について。質問に入る前にこの質問の趣旨を申し上げます。婦人がん検診有効期限記載ミスと本件のことは、私は1月21日の沖縄タイムスの写真入りの大きな記事で見て大変驚きました。午後のNHKのニュースでも見ました。まず思ったのは、こんなに大きくメディアで報道される事態が、なぜ議会に事前に知らされなかったのかということでした。那覇市南風原町環境施設での出火で、組合議会議員、関係先への報告がおくられて厳しく指摘された記憶もまだ新しい中での出来事でした。議会事務局から電話があつて、2月3日の臨時議会招集を知らされたときに、私は何も聞かずにただわかりましたとだけ答えて電話を切りました。この件が報告されるんだとばかり思っていたんですね。ところがその臨時議会では和解裁判の議案が主で、本件の報告はついで行われたという印象でした。その臨時議会で大城 毅議員は、報告、謝罪だけではなく、執行部と議会のキャッチボールが必要だと申し入れて、続く2月27日の全員協議会でも同じように申し入れをしましたが、残念ながら赤嶺町長にはまともに向き合っただけでなかった。町民に対する対応もどうなっているのか。こちらでも、協議会でも、こちらから聞いて初めて答えていただけるような状況でした。報道の日からきょうまで、我が南風原町の議会はその程度の存在なのかと私は非常に残念に思っております。がん検診の有効期限の記載ミスの件もありますけれども、きょうは2年にわたって537名に通知を怠り、180件の問い合わせが続き、行政の信頼を大きく損ねたこの問題の対応について取り上げます。

1. 予防接種不通知について。(1) 関連職員の懲戒はどうしたか。(2) 当該懲戒の条項を示せ。(3) 関連職員の信頼をどう回復させるか。(4) メディア報道前に議会へ報告がなかったのはなぜか。(5) 報道前に何人の議員が知っていたか。お願ひいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の予防接種不通知についての(1)の関連職員の懲戒はどうしたかということですが、令和2年3月5日付で懲戒処分を行いました。

(2)についてお答えします。いずれの職員においても地方公務員法第29条第1項各号に該当しております。

(3)についてお答えします。業務進捗管理や報告、連絡及び相談の徹底により再発防止を図るとともに、公務員としての自覚と責任感を持って職務に専念するよう指導してまいります。

(4)についてお答えします。今回の事案については、町民への周知を迅速に行う必要があったことから、メディア報道を優先しました。

(5)についてお答えします。この件については、把握をしておりません。以上であります。

す。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 関連職員の懲戒につきましては、告示がされておりますので皆さんもご存じだと思います。町民の皆さんもホームページでご存じだと思います。

(2)の当該条項を示してくださいということについて伺います。地方公務員法第29条第1項各号に該当してということですが、この南風原町の例規の中ではどこに当てはめてあるのか教えてください。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 それではお答えします。今回の関連する町の条例、要綱、規則につきましては、南風原町の懲戒に関する条例と、また南風原町職員の懲戒の審査委員会があります。あと南風原町職員に対する懲戒処分等の公表基準に関する要綱、南風原町懲戒処分の基準に関する要綱、そちらの条項、要綱規定が関連する内容となっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 この例規集の1番目の5830というところから数ページにわたってございますね。これに当てはめて懲戒をしたということですね、そういうふうに理解いたします。

(3)の関連した職員の信頼をどう回復させるかということですが、答弁では、きのうも寛諄議員の質問に対して総務部長が答えられたように、業務進捗状況の管理とか、公務員としての自覚、責任を持って処分に当たってもらうとか、そういうことを答えていただいています。これは当然のことなんです。私が聞きたいのは、その職員、上司たち、周囲の人たち、関連した職員をどう信頼させるか。信頼の回復をさせるかという意味です。このことを聞いているわけではないんです。お答えいただけますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 その該当した、関連する職員をどう指導していくかというご質問に対してお答えします。議員質問の件については、管理職を初め、職員については資質向上に努めていくよう指導を徹底してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私が聞いているのはそういうことではないんです。大事なことは、この関連の職員はこの懲戒を受けて、それを公開して、役場の中でも外でも町民に対して公開して、けじめをつけて、一定のけじめをつけて、その関連した職員、上司も含めて、その後、悶々と引きずることなく、区切りをつけて前に向けて歩ませることなんです。そういう意味でどう信頼回復させるかと聞いているんです。もう一度答えていただけますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 この関連職員も含めて、我々職員一同、町全体の、町民に対しての信頼回復に向けて職員全員で信頼回復に向けて業務に、誠心誠意取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私も長い間のサラリーマン生活でたくさんの部下を持ってまいりました。私も厳しいほうです。私は部下に厳しくやってきました。同時に愛を持って接してきたつもりです。決して十分でなかったかもしれないけれども、この職員を将来に向けてどう生かしていくか、この人たちを潰してしまうんじゃないかと、中で生かしていくことを考えてほしいんです。総務部長にお答えいただけますか、あるいは国保年金課長にお答えいただけますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 先ほど回答しました。指導していきますということの指導の中には優しく見守る。また細かく具体的に指導して、育成して、業務の内容も細かく、わかりやすく進めていくということで、全てを含めて指導していくということとの対応となります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 是非ですね、繰り返し申し上げますけれども、この人たちを、この職員たちを潰してしまうのではなくて、将来に向けて是非生かしていただきます。4月から所管になる国保年金課長のお言葉をいただけますか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。先ほど総務部長が考えのもと、将来に向け

て努めてまいります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 どう進めていくか見守らせていただきたいと思います。

次のメディアに報道する前に、議会へ報告がなかったのはなぜか。町民に早く知らせるためというお答えです。町民に知らせるためにメディアを利用した。そういうことですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 早く、広く、多くの町民に知らせるためにメディアを活用しました。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 その方法は、正しかった。そして今後もそういうやり方でいきますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 今回の対応については、我々は適切だったと考えております。また、これまで、例えば9月になりますが、固定資産税における住宅用特例の適用の誤りによる対象者への還付の案件がありました。これは予算案の審議に関連することがあり、議会への提案を優先して、議会への提案後に我々は報道機関の対応を行っております。しかしながら、今回の案件につきましては、議案の提案はなかったことから、早く、広く町民に伝えたいことからメディアの記者会見発表を優先とした対応となります。

[岡崎 晋議員より「休憩願います」の声あり]

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時45分）

再開（午前10時45分）

○議長 知念富信君 再開します。総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 今後も、懸案懸案で対応が異なると思いますが、まず議案に係る

ものについては、議会提案を優先していきたいと考えております。

[岡崎 晋議員より「休憩願います」の声あり]

○議長 知念富信君 質問してちょうだい。

[岡崎 晋議員より「まだ休憩…。私は議案についてとは聞いていないんですよ」の声あり]

○議長 知念富信君 今、入っていますよ。これ休憩はとらないですよ。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私は、議案について聞いているのではなくて、今回のメディア会見、その前に議会に知らされなかったということについて聞いているんです。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 岡崎議員の質問事項1番の(4)に関するご質問にお答えいたします。ただいま、担当部長からは広く町民の皆さんに早く情報を知らせたいということで、メディア報道のほうが先になりましたという答弁でございます。この件に関しましては、私も議員が議会を優先すべきじゃないかというお考えがあることは理解できます。ただ、こういったふうなことにしましては、議案として提案が難しいといいますが、議会事務局にも確認はしていないんですけれども、何を審議していただくかと、議会に提案してですね。こういったふうな、こういったふうな不適切な取扱事務がございましたと。それに対して議決をもらうべきものがあるかどうか。そういったふうなものを考えますと、なかなか議案としてはできないというふうな結論に至りまして、これまでも多分そうだったと思うんですけれども、しかし、議会のほうには何とか報告しないといけないということで、臨時議会のときに、開会の冒頭で報告と。同時にまた私の謝罪を議長にお願いをしたわけでございます。その件に関しましては、先ほども議員ご質問の中にありましたように、毅議員からもうちょっとキャッチボールがやりたいというお話がございましたので、恐らく私の考えですけれども、毅議員はそのあたりはご理解いただいているものと思っております。それで全協で、執行部とキャッチボールをしたいということで、私も案内を受けまして出席をしたと。決して議会に対して真摯な考えじゃなかったというふうなことではないと私は思っております。そういうことで結論といたしまして、こういった案件に関しましては、議案としてなし得ないという解釈があるということをご理解いただきたいと。しかし、ケースケースによって臨時議会があったり、あるいは定例議会があったり、直近で議会があればそこで優先して議員の皆さんにも情報を提供し、またしかるべき対応もしていきたいと考えておりますので、是非ご理解

のほどをお願いいたします。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 町長にご答弁いただきましたが、まだなかなか飲み込めません、残念ながら。必ずしも議会イコールここではなくて、全体協議会の場もあるし、何らかの形で事前に私たちに知らせていただくべきだったんじゃないかと、こういうふうに申し上げます。

次の報道前に何人の議員が知っていたかという答えについては、把握しておりませんというお答えです。これは私は答えられないというふうに受けとめます。次の質問に行きます。

2番目、教育長再任と校長会及び教科書選定について。新垣教育長には、4月からの新たな再任といえますか、改めて祝意を申し上げます。その質問に入る前に、この趣旨について長いんですけども、申し上げます。趣旨を説明いたします。非核宣言をしている本町では、さきの沖縄戦で、当時村の人口の4割に当たる4,481名が犠牲になりました。この方々の氏名がこの役場のすぐそばにある慰霊祈和の塔に刻銘されています。去年私が、去年中学を卒業したある生徒から借りた歴史教科書がここにございます。この教科書の中に沖縄戦で、南風原では1,693戸中79%に当たる1,344戸で犠牲者が出て16%に当たる269戸が一家全滅したと小さく紹介されています。第32軍が首里から南部に撤退する際に戦闘に巻き込まれて、本町の住民にたくさんの犠牲者が出ました。私の実家は、石垣島のおもと岳の麓、山奥にあり、500メートル先の同じ山の麓に戦争マラリアの罹患者が強制的に集められました。今は亡き私の両親と兄は戦争とマラリアにおびえながらそこで暮らし、戦後私はそこで生まれ育ちました。中学1年から3年まで、この子が学んだこの教科書には2ページにわたって沖縄戦のことが記述されています。しかし、沖縄全体での犠牲者の数、戦争マラリア、渡嘉敷の集団自決、接収された土地のことは書かれていません。この教科書をめくってみると、この子が勉強した後のアンダーラインとかマーカーペンの跡がたくさんあります。3年間で学んだんですね。ところが沖縄戦を記したこの2ページには何のアンダーラインもマークも何もないんです。南風原町で、ここで生まれ育ったこの子が学んだ南風原のことが小さく記されています。しかし、残念ながら何もない。どうしてだろう。この子に関心がなかったのか。先生がしっかり教えてくれなかったのか。それともこのページは飛ばされたのか。教育長をなさった赤嶺町長、あるいは新垣教育長に想像し得ることを伺ってみたいと思いますけれども、なぜなのか。きょうはやめておきます。この教科書の別のページに、在日米軍基地の73.8%が沖縄にあると書いています。しかし、そのことによってどんな問題が起きているか、社会科の教科書ですけども、何も書かれていません。去年、2年生と5年生の道徳の教科書も読んで目を通してみました。親孝行をしようとか、隣近所、外国人に親切にしようとか、自分が生まれたまちに誇りを持とうとかすばらしいことが書かれています。説いています。私も小学校のときに道徳教育を受けて、道徳教育は復活すべきだと考

えていました。ただ、これが、この道徳教育が国家至上主義に子供たちが、自然とそういうふうになっていかないかという危惧も持っています。道徳だったか、社会科か、何かの教科書でケーキ屋さんという名前を和菓子屋という記述に書きかえさせられたと。そういうふうに冗談で済まされそうな事実もあるんです。一昨年、教科書問題を取り上げたNHKのドキュメンタリーで、ある教科書会社が主催したシンポジウムで、自民党が政権を失って下野していたときに現在の安倍総理が、教科書を変えるには首長をかえていけばいいんですと。首長は、教育長を指名、任命できるんですね。その安倍政権ではこの美しい国日本を取り戻すといった安倍総理の政権下では、若い文科省の職員が教科書検定官として、検査官として戦争の記述を自虐的過ぎるとかなどと言って削除させたり、書きかえさせたりして、若い人たちはこの戦争の史実を正しく知らないという状況になっています。いつの間にか差し障りのない表現になって、若者たちは平和に対する危機感を失いつつあります。そういう状況を背景に質問を申し上げます。

教育長再任と校長会及び教科書選定について。(1) 平和教育にどう取り組むか。(2) 教育委員会は校長会運営を主導しているか。(3) 教育委員会は道徳や歴史の教科書選定にどう関与しているか。(4) 令和2年度小学校教科書改訂はどんな内容か。お願いいたします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 それでは質問事項2点目、教育長再任と校長会及び教科書選定についての(1)についてお答えいたします。小中学校の平和教育については、平和のとうとさ、人間の尊厳や生命を尊重する態度を育成する目的で、道徳の時間や特別活動を中心に全教育活動を通して取り組んでおります。あわせて子供平和学習交流事業での平和意識の高揚に向けた取り組みを行うとともに、南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を学習拠点として活用し、歴史資料のデータベース等を通じた平和学習の充実を図ってまいります。

(2)でございます。毎月1回の定例校長教頭連絡会と必要に応じた臨時校長会を開催し、学校教育関連の連絡調整を行っております。

(3)です。教科書選定については、全教科とも町教育委員会が教科用図書島尻採択地区協議会へ選定に関する諮問を行い、協議会から文部科学省が認定した教科書の中から調査・研究結果の答申を受け選定を行っております。

(4)平成29年7月に告示された小学校学習指導要領に沿った改定であり、主体的、対話的で深い学びの充実を反映した内容となっております。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。(2)について伺います。教育委員会は校

長会運営を指導しているか。校長がかわれば学校が変わるとずっと前から言われています。町内には6人の校長先生がいらっしゃいます。それぞれ皆さん一国一城の主ですね。そういう方々を相手にしておられる教育委員会のご苦勞も大きいと思います。伺いたいんですが、この校長会は、連絡会とか臨時校長会はどこで、大体毎月1回、もしくは臨時にということですが、校長と副校長、どこで、約何時間ぐらい、どなたが進行して、どなたが出席しておられるのでしょうか。どこで教育長の出番があるのでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。まず、定例の校長、教頭連絡会は毎月1回ございます。出席者でございますが、基本的には教育長、教育部長、学校教育課長、各学校の校長、教頭です。学期の初めには各幼稚園の園長先生も参加されております。臨時につきましても、例えば今回のコロナウイルス対策であったり、そういった事項が発生したときに教育委員会のほうで招集して行っております。この司会進行につきましては、学校教育課にございます指導主事のほうで行っております。毎回この校長、教頭会等では、教育長のほうが初めに挨拶をいたしまして、校長先生方にも教育委員会からの、教育長のお話というのがありますので、その辺で何かあればお伝えしているというところがございます。以上となります。申しわけありません、時間ですね。時間につきましては、毎月定例のものに関しては、月初めに大体1時間から2時間程度会議を持っております。場所につきましては、南風原町役場のほうで行っております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 先ほども申し上げましたように、一国一城の主の皆さんですね、この質問は多分皆さんに対して失礼かなとも思いました。校長会運営を主導しているかという質問ですから、失礼な質問ではないかと受け取られかねないような質問です。教育長か教育部長にお答えいただけますか。主導という意味がなかなか難しいかもしれませんが、南風原町教育委員会において6名の校長先生、教頭先生がいらっしゃる。主事とか課長、部長方がいらっしゃる中で、その運営を主導できていると思われませんか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 おっしゃるとおり、校長へ主導というふうな表現に対しては、我々、学校管理規則をごらんになれば、教育委員会の、ご承知になるかと思うんですけれども、ほぼ学校の運営、教育編成は校長の管理でございます。このほうの、先ほどお答えしたんですが、文科省を通じて、県の教育委員会を通じて学校に連絡事項はあります。あとは行事の調

整とかというのはほぼ学校がそれぞれ校長を先頭に学期の計画等も定めておりますし、そういう連絡調整、また今回であれば臨時的休校とか。そういったものをお互い意見を調整しながら行っているというのが実情でございます。あくまでもこれは各学校、町内の学校の連携をとるというふうな考え。それから国、県の調整、連絡事項もそこから伝えるというふうな会議となっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。連絡会議に近いような会議なのかなとも思ったりしますけれども、新たな3年間、教育長はそのラグーマンの馬力を発揮していただいて、次の教科書選定などもあると思いますけれども、是非リーダーシップを発揮していただきたいと思います。

その教科書選定ですが、本町からは島尻地区の協議会にメンバーが出ると思うんです。中学校の歴史のことを今申しています。そのメンバーはどのようにして選ばれていくんでしょうか。それともう一つ、その歴史教科書とか道徳の、採択の協議会の中でこれまでに議論があったことがあるかどうか。沖縄県、先ほど紹介したこの歴史教科書は、1年から3年まで学んでいる教科書は帝国書院、私がネットで見たとところほとんど県内では大体これを採用しているようです。つまり採択の範囲がだんだん狭まっているような気がするんですね。先ほどの質問にお答えできますか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 地区教科書採択協議会、この協議のメンバーは島尻教育事務所管内の10市町村の教育長プラス保護者の代表の方が入って11名でございます。歴史教科書、道徳にかかわらず全ての教科に4人以内の調査員というのを委嘱します。これは先生方でございます。それぞれの教科の。それで調査を委嘱して、そこで文科省の教科書目録というものがあります。これは教科書検定に合格した教科書で、文科省に届け出された教科書、その中から選ぶというルールがございますので、その中からそれぞれの教科の調査員がそれぞれの項目、またこれは各都道府県が、その指導助言がございます。いわゆる視点ですね。生徒がわかりやすいかとか、表現はどうなっているかとか、単元のくくりとして見返りの強化があるかとか、部分があるかとか、そういったいろんな教える立場から、習う生徒の立場から見たよりわかりやすい教科の選別していく視点とかが示されます。それに基づいて調査員がそれぞれの意見を出して教科書目録の中から順位づけをして、中が協議会に答申されてくると。報告されるということですね、調査員から。それに基づいて協議会で決定されるということになります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。この中に令和3年度からの採択について、この夏には決められるということもあると思います。そういう作業もこれから進んでいくことだと思います。そういうふうに理解します。

(4)については飛ばします。

大きい3番目、会計年度任用職員について。このことについては、12月か9月の議会でも私伺ったと思いますが、改めて伺います。会計年度任用職員について。(1)在職者と新規の応募状況はどうか。(2)国の補助と自前の費用増はどうか。お願いいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では質問事項3点目の会計年度任用職員について。(1)についてお答えします。3月17日時点の応募状況は273名の募集に対し、全体で419件の応募があり、その内訳は在職者が207件、新規が212件となっております。

(2)についてお答えします。令和2年度当初予算における会計年度任用職員に係る報酬及び手当は、約7,700万円の増となっており、そのうち国庫支出金は約2,700万円となっております。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。応募状況については273の募集定員に対して、在職者が207からの応募ですね。伺います。在職者は今何名いるのか。新規が212というのは私にとっては意外な数字ですけれども、多いんだなと思いました。この新規はどういう職種に大体集中しているのでしょうか。そして選考はいつ、どのようにして行って、結果はいつ出ますか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。今現在、臨時・嘱託の人数が293名となっております。新規の方がどの職種というところはまだ集計はしておりません。この審査といえますか、履歴書と面談に関しては、今各課のほうで随時進めているところであります。ほとんどが面接のほうを終えている状況であります。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 今のお答えからすると、在職者のうち86名が応募しないということ

なのかと思いますが、そうですか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 はい、ご質問のとおりです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それはちょっと不思議なんですけれども、なぜなのでしょう、86名の方が応募しないというのは。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。理由に関しては細かいところまでは把握しておりませんが、就職がほかのところに決まったりとか、いろいろほかのところに採用があったとか、そういう理由がもろもろあるかと考えております。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 競争率でいえば1.5倍です。我が南風原町も応募者が多いということはおもしろいことだと思います。

次の(2)の国の補助と自前の費用増はどうかということに対して、お答えはこの制度スタートにより約7,700万円かかりますと。そのうち全国で期末手当のために全国で1,700億円を支出するというふうに聞きました。そのあたりの情報はいかがですか。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。去る1月29日、県のほうで総務省の資料の説明で会計年度任用職員制度の施行への対応ということで、令和2年度から施行されることに伴う期末手当の支給に係る経費について、交付税措置をするということで、合計で1,738億円を予算措置するというのを聞いております。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 この制度のスタートに当たっては、国はこれまで国策として構造改革とか産業育成とか研究開発とかいろいろなことの政策が後手に回って、世界においては

労働生産性が大きく落ち込んで、競争力を失ってしまいました。それで国はこれを挽回するために3年、4年にわたって企業に賃金を引き上げるように介入と言ってもいいかな、呼びかけたり。年金の加入基準条件を引き下げたり、去年の10月に始まった幼児教育・保育の無償化、そしてこの制度、こういうことを私から見れば政策というよりも手っ取り早い、国民の目に見える手法を用いてやろうとしています。この件について全国知事会とか全国市長会では引き続き国からこの会計年度任用職員について、対して財政の手当をしてほしいという要請を続けているようです。町村会においてはどのような動きをされているのでしょうか。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。全国町村長大会において、去る2019年11月27日に大会を開いて、24項目のうちの大会要望の中で4項目めにあります町村財政基盤の確立ということで条文としては会計年度任用職員制度導入における期末手当等の支給に係る町村の財政負担について、十分な地方財政措置を講じることとして採択して、それを国のほうへ12月4日に要請として提出しております。以上です。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 赤嶺町長も町村会のいろんな場において、そういう働きかけをなさっていくかと思えますけれども、引き続きよろしく願いいたします。

次の4番目、プログラミングと英語教育の評価基準は統一かについて…。議長、休憩お願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時17分）

再開（午前11時18分）

○議長 知念富信君 再開します。3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 プログラミングと英語教育の評価基準は統一か。（1）先生たちは必要なトレーニングを受けたか。（2）専任教員の配置状況はどうか。（3）評価基準は各校統一か。（4）授業の時間配分は変わるか。お願いします。

○議長 知念富信君 教育長。

○**教育長 新垣吉紀君** お答えいたします。質問事項4点目、プログラミングと英語教育の評価基準は統一かという質問の(1)でございます。プログラミング教育について、教育委員会で前年度、今年度に研修会を実施しております。また、県立総合教育センター等が主催する研修会に参加した先生方が、各学校で伝達講習会を行い、次年度からのプログラミング教育実施に向け対応を行いました。英語教育につきましては、町教育委員会で小中連携を生かした取り組みとして、公開授業及び授業研究会を行い、担任の先生方の英語指導力の向上に向けた取り組みを行っています。

(2)でございます。プログラミング教育は、教科ではなくこれまでの各教科の中に取り入れられる学びの方法であり、専任教員の配置はございません。また英語教育については、基本的には担任で実施するものであり、令和2年度の英語専任教諭は本町に1名配置される予定となっております。さらに本町では、日本人英語指導助手を各小学校へ1名ずつ、令和2年度からは各中学校区へ1名ずつ追加配置し、合計6名の日本人英語指導助手を配置し、支援をしております。

(3)でございます。英語教育については、文部科学省が示す外国語科の目標等に基づき、児童の実態等に応じて各学校で評価基準を作成します。初年度については、町内4小学校で統一した評価基準を作成し、評価していきます。プログラミング教育については、教科でないため評価はございません。

(4)各教科の時間配分は変わりません。しかし、小学校3年生以上は外国語活動及び外国語、これは英語でございます。その完全実施のため週の授業時数が一単位時間増となります。年間35時間の増ということでございます。以上です。

○**議長 知念富信君** 3番 岡崎 晋議員。

○**3番 岡崎 晋君** ありがとうございます。そうですね。プログラミング教育というのは、なかなかわかりにくいもので、私も先日4階にある新しい教科書をめくってみたんですけども、そのプログラミングという言葉が1カ所だけ、国語の教科書の中で1カ所しか見つけきれませんでした。一体どのように組み込まれているのかなかなかわかりません。そのプログラミングがどの教科、どの教科に組み込まれているのでしょうか。

○**議長 知念富信君** 学校教育課長。

○**学校教育課長 宮良泰子さん** お答えいたします。プログラミング教育は、文科省が示す学習指導要領の中では全ての強化で活用できるというふうに記載されております。なので、プログラミング教育は、どの教科や、全ての教科、あとクラブ活動等でも導入していただけるものとなっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 そうすると、先生方は特にプログラミング教育についてのトレーニングは必要ないというさきのお答えでした。プログラミング教育については特にトレーニングや研修を受ける必要はないんですか、なかったんですか。受けているんですか、すみません、もう一度お願いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん プログラミング教育につきましては、全ての教科で取り入れることは可能ですが、まず南風原町のほうで研修会等で取り組んだのは主に算数ですね。算数の教科のほうで取り組むような研修を行っております。例えばですが、5年生の多角形の図形を書くときのものだったりとか、そういう文科省が出しているスクラッチというソフトがあるんですが、そちらでプログラミング教育に関するものを算数に取り入れるような形でやったりとかは行っております。あともう一つ…、すみません、実際そのような形で研修というのは行っております。

[岡崎 晋議員より「特にトレーニングは必要なかったということですか」の声あり]

○議長 知念富信君 岡崎議員、質問はちゃんとやってちょうだい。

[岡崎 晋議員より「さっき質問しました」の声あり]

○議長 知念富信君 だったら立ってやって。

[岡崎 晋議員より「さっき、このプログラミング教育について、特にトレーニングは必要だったのか。やったのか、なかったのかということ先ほど聞きました」の声あり]

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 各学校のトレーニングのほうは行っております。行いました。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 各学科、あるいは屋外での何教育でしたか、それにも含まれていると

ということなので少し驚きましたけれども、勉強不足で。これも私、今後見守っていきたいと思います。なかなか難しくてわかりにくいことが多々あります。英語教育については、これまでもやっていたんでしょうか、公開授業をやっておられたんでしょうか。それは担任の先生にとってはかなりのストレスもあったのかもしれませんが、公開授業はこれまでもあったんでしょうか

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 英語教育にかかわらず普段から先生方は公開授業等を行って、お互いの勉強、質の向上等を深めるとか、そういう授業改善に向けて取り組みを行っております。ただ今回答弁の中でやっています公開授業といいますのは、英語教育、小学校の教科化に向けた公開授業ということで、中学校の授業のほうを小学校の先生が見に行かれて、その授業を見て、また先生方が授業研究を行ったという内容になっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 (2)の専任教員の配置状況はどうかという質問に対しては、新年度は専任教諭、教諭というのは多分免許を持った方ですね。英語の専任教諭は本町に1名配置予定。この1名の方は、ある学校に、そこだけに配置されるのか。それとも学校を巡回するのか。それはいかがでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 専任の先生は、配置は1つの小学校の配置になるんですが、もう一つの小学校、2つの小学校を兼任で持つというふうに今のところ聞いております。専任の先生は配置としては1校ですが、この先生がほかの小学校に対して、3つの小学校に対して評価に関する案を主導して、作成したりとか、そのような形で実際に授業に入ったりとか、そのような形で一人の先生がほかの学校にもかかわっていくという形をとります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 評価の基準は各校統一かという質問に対しまして、児童の実態等にに応じて各学校で評価基準を、各学校で評価基準を作成します。初年度においては町内4小学校で統一した評価基準を作成し評価していきます。ここがあまりよくわからないんですね。各学校で評価基準を作成します。だけれども、初年度だけは4小学校で統一の基準を設ける。その次以降はまだ未定ということですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 本来であれば、各学校でその実態に合わせた形での評価をしていくということですが、英語の教育については、今回初めての授業化ということで行っていますので、その先生方と一緒に指導主事も含めて、今回については統一した形ですり合わせとか、研究会を行った評価基準を設けると。次年度以降は、さらにそのほかが押し進めて、また各学校のほうで評価基準をつくっていくということでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私は前回の質問か、提案でも申しあげましたけれども、各校、南風原町内の学校の評価基準が統一でなければいけないということを申し上げたんですけれども、これは令和3年度以降についても評価の基準は、英語です、英語科。5年生、6年生の、通知表を書きますからね。その評価の基準は、新年度は評価基準は作成しますと、統一した。3年度以降もそのとおりでいくかどうか。すみません、今のお答えちょっとよくわからなかったのもう一度お願いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 少し考え方を整理しますと、評価基準という、例えば何点からどういうふうに評価するとか、どういうふうなことではないです。一般的に目標、質問の中で我々が回答している規準という字が、漢字が違うんですけれども、一般的にランクをつけた基準のことではないです。目標、どれぐらいできているかというふうな、その定めた目標があります。その目標については統一のものが作成されています。しかし、各学校、この生徒に応じた評価の規準というものを、また各学校の中でもつくって、それで評価をしていくということでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 すみません、今のお答えでは、結局4小学校の5年生、6年生の英語の評価は、結局は規準は統一ではないんですか。規準ですよ、おっしゃっている規準は同じ意味で私も捉えております。評価の規準。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 言葉をかえて言いますと、目標としているところのものは一緒です。その目標としている指導のですね、目標、これだけできるようにしましょうとかとい

う目標については同じ。さらにその目標をもとに各学校のほうで実態に合わせる、答弁でありましたような形で規準を、指導の形に合わせた規準を作成していく。基本的に、今回、専科の先生をお一人配置しておりますので、その先生が一緒になって、指導主事も一緒になってその辺の目標を定めていくということで、その手法については次年度以降も、3年度も同じような手法になります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 すみません、何度もお答えいただいて、まだ十分に理解できていないんですが、その4小学校の5年生、6年生の英語科の評価については、是非統一した規準でできるようにお願いいたします。

最後の授業の時間配分は変わるか。中学校では、実質的な昼食時間は15分間と読んだことがあるんですが、小学校も含めて昼食時間の実態はどうなんでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。学校の給食の準備時間が20分、給食をとる時間が20分、その後の片付けや歯磨き等の時間を入れて10分で、合わせて50分となっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それは多分、決まりですか、それとも現状ですか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 各学校で、計画の中で、時間割の中で決められております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 きのう決まった、文科省で決まった教科書の合格、会社ですね、きのう決めたようですけども、3年度からはさらに中学校の国語は1割ページがふえると。ほかの教科でもページがふえると聞いています。是非皆さん、先生方、生徒たちの将来というか、身を考えながら教育委員会の皆さん、是非頑張ってくださいと思います。よろしく申し上げます。ありがとうございます。